

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)道路改良関連事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	野島 康博	担当責任者:	水野 知
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道加入者)			
事業の必要性	道路改良工事等の事業に伴い支障となる水道管の布設替や将来の需要に対応する為の水道管の増径工事をすることにより、漏水防止や水道利用者への水の安定供給に繋がると共に単独で施工するより経済的である。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	伊予市上水道区域
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	安全で安心な水を需要者に供給する。			
事業の内容	道路改良工事、舗装工事に併せた水道管の移設増径工事を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	布設されている配水管等の施設台帳の整備を行い、今後、更新が必要となる配水管を抽出し道路改良及び舗装改良等の担当部局との連携を取り、コスト削減を図っている。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	11,451	20,550	0	10,669
	人件費	5,287	3,579	0	3,579
	合計	0	24,129	0	14,248
人件費 内訳	人工数	0.65	0.45	0.00	0.45
	人件費単価	8,135	7,954	0	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	5,287	3,579	0	3,579
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	16,738	24,129	0	14,248

実施スケジュール								
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降	
布設替工事	11,451	10,669	25,000	25,000	25,000	25,000		
年度別事業費	11,451	10,669	25,000	25,000	25,000	25,000		
財 源	国・県支出金							
	地方債							
	その他	11,451	10,669	25,000	25,000	25,000	25,000	
	一般財源							
国・県支出金等名称								0

成果指標				
成果指標	実績数量のみを記載する。			
指標設定の考え方	道路改良工事に伴い発生する配水管布設替工事であり、成果指標の設定は困難である。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	0	-	-	0
実 績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	布設されている配水管等の施設台帳の整備を行い、今後、更新が必要となる配水管を抽出し道路改良及び舗装改良等の担当部局との連携を取り、中長期計画を策定し効率的な管路の整備を行いコスト削減を図っていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業は、道路改良及び舗装改良工事と合わせて水道管を布設することにより、双方のコスト縮減や市民の協力が得やすいなどメリットがあるため積極的に推進する必要がある。道路工事等の整備計画と管路整備計画の進捗状況を関係部署と連携し情報の共有化を行い、適切な施設整備の推進を図りたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題